UNICHEMY LETTER

2026.10 002号

【総合】 メッセナゴヤ 2026 登壇
【分析事業本部】 クライオイオンミリング
【分析事業本部】 ガス / 蒸気吸着量測定装置
【商品事業本部】 ラボタオル品質向上
【静岡ベース】 接触角計
【常滑ベース】 種子島観光協会 愛知支部
【あつたさんぽ】 シーボルトと熱田

# ユニケミーレター

## 総合 「Space Approach Forum in メッセナゴヤ 2026」

当社代表の濱地がメッセナゴヤ 2026 のイベントステージに立ちます。『宇宙×酒　挑戦者たちが語る“宇宙の一杯”』として、経営資源の編集により宇宙事業から水、クラフトジン事業へ展開した裏側を語ります。

さらに株式会社獺祭の桜井社長、高砂電気工業株式会社の浅井会長、モデレーター戸梶氏を迎えたトークセッションもあり、新規事業や挑戦のヒントが詰まった必見イベントです。(11月12日(木) 10:30 － 12:00 開催)

## 分析事業本部 クライオイオンミリング

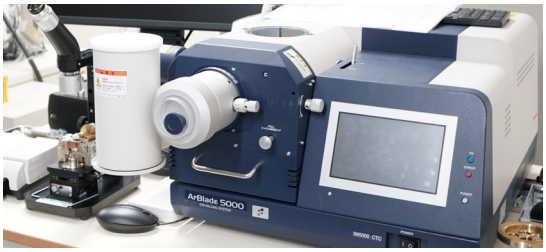
クライオ（冷却）イオンミリング装置「ArBlade 5000」を新設しました。本装置は、アルゴンイオンビームを用いて、試料を極低温で冷却しながら加工できるため、従来の機械研磨では歪みやキズが生じやすかった材料の極めて平滑な観察用の「断面」を作製できます。

クラス最速の加工レートを誇り、各種金属やセラミックスなどの硬質材料はもちろん、熱に弱い樹脂、ゴム、接着剤、高分子フィルム、複合材料といった軟質材料まで変形を抑えて綺麗に加工可能です。

自動車の電子基板や積層材料をはじめ、あらゆる異種材料界面の正確な内部構造解析・原因究明に役立ちます。全固体電池、生体試料などにも適用できます。







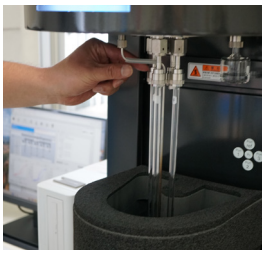

イオンミリング装置：日立ハイテク社　ArBlade 5000

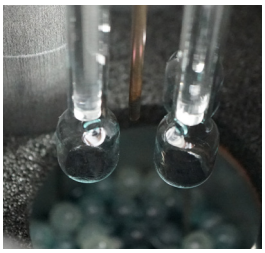
## 分析事業本部 高精度ガス／蒸気吸着量測定装置

蒸気吸着量測定装置「BELSORP MAX X HT」を導入しました。本装置は、各種材料の基本物性である BET 比表面積や細孔分布の測定はもちろん、従来は困難であった「高温（～ 70°C）環境下」における水蒸気やガスの吸着・脱離特性まで高精度に評価できる点が最大の強みです。

さらに、大気非暴露測定オプションを搭載しており、大気との接触により変質しやすいデリケートなサンプルの評価にも対応しています。

自動車の排ガス触媒や燃料電池材料、各種製造業の分離膜や吸着剤、建築材料における吸湿性評価など、実動作プロセスに近い過酷な条件下での挙動評価にぜひご活用ください。








蒸気吸着量測定装置：Microtrac 社　BELSORP MAX X HT

## 商品事業本部　「ラボタオル」品質向上

当社オリジナル製品「ラボタオル」は、優れた吸水性・吸油性・耐久性と、低ハロゲンのクリーンな紙質を備えたディスポーザブル紙ウエスです。検査・分析試験所や研究所をはじめ、精密部品・医薬品・香粧品などを扱う事業所でご好評いただいている本製品を、このたび品質改良しました。

原料パルプを見直すことで柔軟性を高め、よりソフトな触感を実現しました。基本性能を維持しながら、さらに使い心地を向上させたラボタオルを、今後ともよろしくお願いいたします。



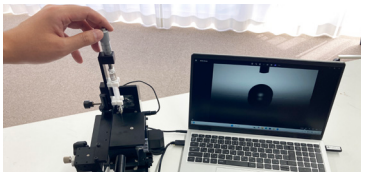
## 静岡ベース　接触角計

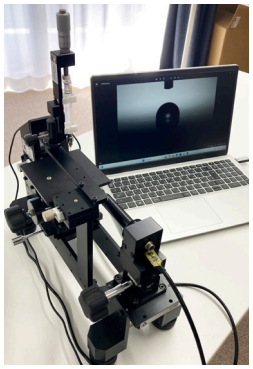
新たに接触角測定装置「B100」を導入しました。本装置は、液滴法による静的接触角 ( 濡れ性 ) を測定できる装置です。シリンジ構成にはテフロンニードルを選択でき、酸・アルカリの液体も測定可能です。

表面張力・表面自由エネルギー計算オプションも導入しておりますので、材料の表面改質・コーティング評価から、液体の表面張力測定まで、固体・液体の表面物性評価にご活用いただけます。

静的接触角測定装置：あすみ技研社　B100







## 常滑ベース　種子島観光協会 愛知支部

グループ会社の株式会社ユニケミープラスは、今年度から種子島観光協会愛知支部の役割を担うことになり、常滑ベースを基点に東海地方のイベントなどへ出展し、種子島の PR 活動を行っています。

また、種子島の地域振興を目的に、常滑ベースで種子島アンテナショップ「TANESTORE」を昨年オープンし、特産品などを販売しています。

さらに、将来の種子島を担う人材の育成を目指し、東海地方在住の種子島出身者と設立した「たねがしま青年育成会」を運営するなど、種子島の振興に継続して取り組んでいます。

（同封の案内資料も、併せてご覧いただけますと幸いです）






## あつたさんぽ ― シーボルトと熱田

ユニケミーから歩いて回れる名勝史跡をご紹介します。「七里の渡し」を散策すると「宮の宿とシーボルト」の看板に出合います。1826 年 2 月、江戸参府途中のシーボルトが熱田を訪れ、自身の著書に当時の賑わいを残しました。中でも魚市場の記録はユニークです。見慣れぬ海の幸に惹かれた彼は珍しい魚を買い上げ、絵師の川原慶賀にスケッチさせました。『日本動物誌』に載る魚類の多くは伊勢湾沿岸で集められたものです。

また彼は、海上交通の規模や美しい庭先に驚き、日本を「世界でも稀な園芸愛好国家」と称賛。熱田の魅力を脳反射的に記録したシーボルトの足跡をたどる、散歩にぴったりのスポットです。




ユニケミーレター

002 号　発行：2026 年 10 月
発行者：株式会社ユニケミー
〒 456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1-11-1

ユニケミーレター　© 2026 株式会社ユニケミー　All rights reserved.